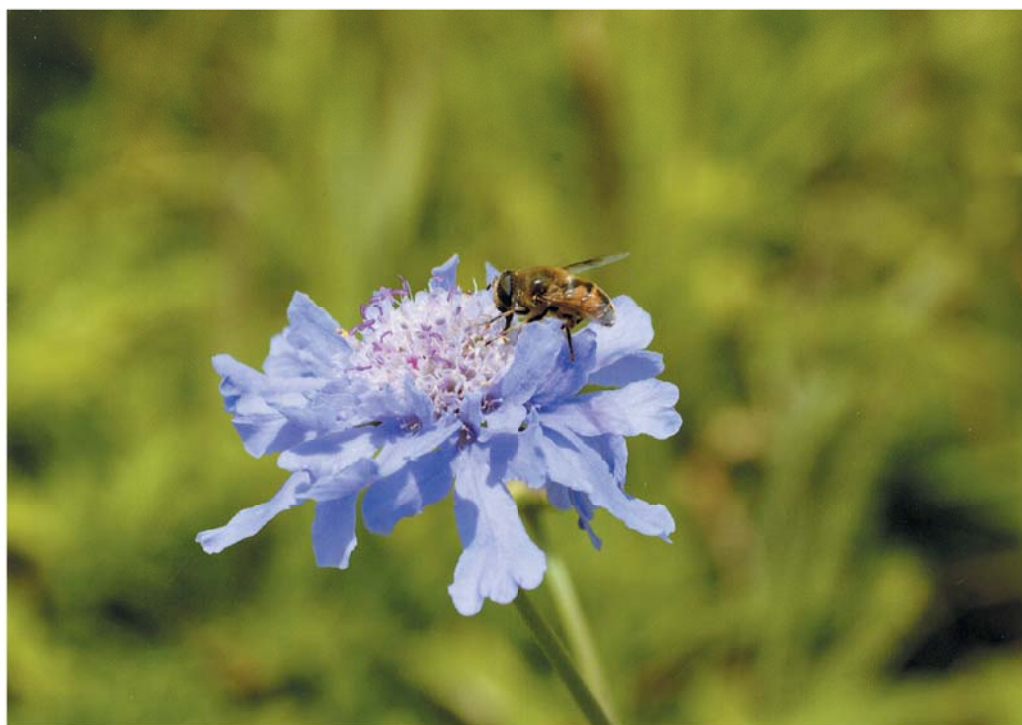


西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第464号 平成23年8月



『マツムシソウ』 真鍋 勉

目 次

	頁		頁
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	7) 同好会短信	
2) 専門医に学ぶ	高橋英治 … 3	ゴルフ部だより	田村啓彦 … 11
3) 学術部インフォメーション	学術部 … 5	8) 理事会報告	広報部 … 12
4) 西多摩地域糖尿病医療連携 検討会からのお知らせ	清水茂雄 … 8	9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 15
5) 連載企画 カーナビ泥棒に注意	渡邊哲哉 … 9	10) 表紙のことば	真鍋 勉 … 16
6) 広報だより やまとなでしこの奇跡、サッカー観戦記	馬場真澄 … 10	11) お知らせ	事務局 … 17
		12) あとがき	鈴木寿和 … 17

感染症だより

〈全数報告〉

第24週(6/13-6/19)から第27週(7/4-7/10)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

- (二類感染症) 26週4件(肺結核4件)
- (三類感染症) なし
- (四類感染症) 25週1件(A型肝炎1件)
- (五類感染症) なし

〈管内の定点からの報告〉

	24週	25週	26週	27週
	6.13～6.19	6.20～6.26	6.27～7.3	7.4～7.10
RSウイルス感染症				
インフルエンザ				
咽頭結膜熱	2	5	19	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	13	7	2
感染性胃腸炎	41	35	34	27
水痘	5	9	9	5
手足口病	1	5	8	20
伝染性紅斑	12	11	15	11
突発性発しん	6	6	4	5
百日咳				
ヘルパンギーナ	1	2	2	5
流行性耳下腺炎	1	1		2
不明発疹症				
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
合 計	76	87	98	86

基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉
マイコプラズマ肺炎 24週2件

〈コメント〉

① 手足口病の定点当たり報告数は増加傾向です。

都では7月15日に流行警報を出して、警戒を呼びかけています。27週時点で管内定点当たり報告数は2.50(24週は0.13、25週は0.63、26週は1.00)で、都全体は5.04です。

全国的には26週時点で、佐賀県(38.4)、福岡県(31.6)、愛媛県(27.2)が多く、中国、四国、九州の流行が大きくて、0-1歳が40.1%の報告割合です。

② ヘルパンギーナの流行警報が出されています。

都では7月15日に流行警報を出して、警戒を呼びかけています。27週時点の管内定点当たり報告数は0.63(24週は0.13、25週は0.25、26週は0.25)、都全体は3.37です。26週時点では、徳島県(8.83)、鹿児島県(8.82)宮崎県(6.56)が多いです。

③ 基幹定点からマイコプラズマ肺炎が報告されています。

全国的には、過去5年間の同時期と比較して多くなっており、26週時点の定点当たり報告数は0.61で、沖縄県(3.00)、青森県(1.83)、栃木県(1.43)、宮城県(1.42)が多いです。

④ インフルエンザの定点当たりの報告数は27週時点ではありません。

都全体では定点当たりの報告数も0.04と減少しています。全国的には26週時点の定点当たり報告数は0.10で、多い順に沖縄県(3.10)、鹿児島佐賀県(0.59)、福島県(0.31)です。

専門医に学ぶ 第79回

【症 例】 67歳 女性

【主 訴】 下腿浮腫、持続する咳

【既往歴】 60歳 近医にて僧帽弁閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症を指摘される。

【生活歴】 喫煙・飲酒 行わず。

【現病歴】 2009年12月下旬頃より下腿浮腫出現し近医受診。利尿剤と β -blocker 投与されるも改善は認められなかった。2010年1月より痰を伴わない咳が出現するようになる。症状は改善せず、尿蛋白3+であり精査加療目的にて2010年2月当院紹介受診となる。

【現 症】 身長 152cm、体重 55Kg、体温 36.8度、BP 108/78mmHg、SatO₂ 96% (room air)。両下腿に左右差を伴わない著明な浮腫を認める。意識は清で肺野に湿性及び乾性ラ音は聴取されない。

心電図：心房細動、HR100-130回/分、左室肥大所見なし

【入院時検査成績】 尿蛋白1+、糖一、潜血一、WBC 5700/ μ l、RBC 418 $\times 10^4$ / μ l、Hb 11.4g/dl、Plat 12.6 $\times 10^4$ / μ l、TP 7.0g/dl、Alb 3.1g/dl、AST 34 U/l、ALT 16 U/l、CK 145 U/l、BUN 15.7 mg/dl、Cr 0.85 mg/dl、Na 136 mmol/l、K 3.45 mmol/l、Cl 98 mmol/l、HbA_{1c} 7.0%、CRP 2.2 mg/dl、尿蛋白定量 60mg/日

【画像検査】 心エコー、心臓MRI検査を行った。



図 1. 胸部レントゲン



図 2. 心エコー 長軸像

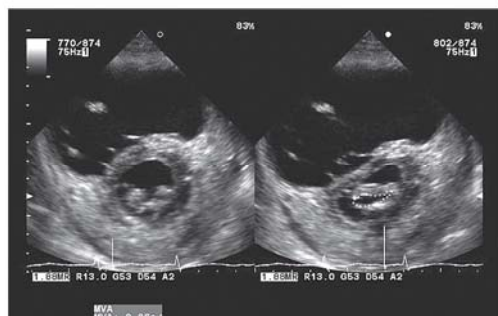


図3. 心エコー 短軸像

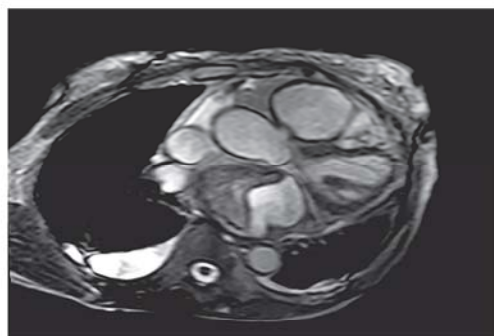


図4. 心臓MRI

【問題】

画像所見上考えられる病名はなにか。

解答と解説

公立福生病院 循環器科医長 高橋 英治

【解答】 僧帽弁狭窄症、左房内巨大血塊

【解説】 本症例は胸部レントゲン上心胸比拡大と心腰部（左縁中部）の膨隆、及び心電図上心房細動が認められることより心エコー検査を行った。心エコー上は僧帽弁の肥厚、輝度の上昇及びドローミングが認められ僧帽弁狭窄症（MS）が疑われた（図2：画面中央の上に凸の領域を分ける白色線状構造物）。また、左房内に辺縁滑の輝度の高い内腔の広範囲を占める構造物が認められた（図2：僧帽弁右側の広範囲な霧のかかった様な白色の領域）。その構造物は4腔像でも心房中隔に接する形で認められ55×29mmの大きさを呈していた。右室は拡大し心室中隔を左室へ圧排する所見も認められ肺動脈圧の上昇を疑わせた（図3：右画像において右室は上部の大半を占めるソラマメ様の黒い部分。左室はその直下の楕円形の部分）。僧帽弁口面積は0.86 cm²（トレース法）で重度のMSであった（図3：線で囲ってある部分）。構造物は形態から血塊と考えられ、心臓MRIにても左房内に無茎性の辺縁滑な長径70mmの低信号領域を認めた（図4：脊椎前方の右を向き口を開けている鳥の頭部の様な形の黒い部分）。

心房細動を認める症例に対しては現在血栓塞栓症の予防からCHADS2スコアなどを参考に抗凝固剤の内服を行うことが推奨されている。血栓の有無に関しては通常経胸壁心エコー検査にて検査をすることが多いが血栓を確認できることは少ない。左心耳の血流うっ滞に伴い形成されることが多く左心耳の観察には経食道心エコーが優れている。本症例の手術所見では左心耳から右上肺静脈まで暗赤色の血塊が左房壁に強固に癒着していた。血塊がいつごろから形成し始め今回のサイズまで成長したのかは不明である。本症例では血栓塞栓症の既往は全くなく、下腿浮腫が出現するまで無症状であった。本人は既往で僧帽弁閉鎖不全症と説明していたがMSと勘違いした可能性はあると思われ、心房細動を伴うMSでの定期的な診察・検査の必要性を再認識させられる症例であった。



学術部 Information



1. 西多摩医師会臨床報告会

東日本大震災による様々な事情により、3月より延期となっておりました医師会主催の西多摩臨床報告会が6月21日(火)に公立福生病院 1F 多目的ホールにて開催されました。

三公立病院など5施設より6演題の発表がありましたが、いずれのご発表も臨床的に有意義で充実した内容で、活発な質疑応答が行われました。本会にご協力頂きました会員の先生方並びにスタッフの方々はこの場をお借りして心より御礼申し上げます。尚、本報告会の詳細につきましては、會澤学術委員からの報告がごぞいます。

2. 西多摩医師会学術部講演会

7月11日(月)に昭島市フォレストイン昭和館に於きまして、西多摩医師会納涼の夕べに先立ち「薬剤溶出ステント (Drug Eluting Stent : DES) について」というテーマで公立阿伎留医療センター循環器科部長の榎田光夫先生にご講演を頂きました。榎田先生には冠動脈インターベンション治療の歴史と薬剤溶出ステントを用いた最新の治療の有効性と問題点などについて解りやすく詳細に講演して頂きました。以下に抄録を掲載させていただきます。

(学術部担当 江本 浩)

第9回西多摩医師会臨床報告会に出席して

西多摩医師会学術部 学術委員 會澤 義之

6月21日(火) 19時半～21時半に福生病院多目的ホールで開催されました。今回6演題の発表がありましたので、印象に残った内容をごく一部で簡単ではありますが報告致します。

1. 「すべてのひとを受動喫煙から守るために」

公立福生病院内科(健診) 野村眞智子先生

1週間に累積たった1時間程副流煙に暴露される受動喫煙(アスベストの100倍のRisk)でも、肺癌・アテローム性動脈硬化・DM等の発症Riskがかなり上がることは衝撃の報告でした。両親が非喫煙を1としたら、片親が喫煙では1.6倍、両親が喫煙すると4.7倍で乳児突然死症候群の発症率も上昇するそうです。毎週火曜の午後の禁煙外来では喫煙はニコチン依存の疾患とみなして、薬物療法のみならず、投薬出来ない妊婦さんを含めカウンセリング(中・高校生も可)もされているそうです。何歳からでも、高齢からでも禁煙することで余命は伸びますので遅くはありませんねと言われ、有意義な講演でした。

2. 「超大量モルヒネ内服で疼痛コントロールを行っている乳がんの一例」

公立阿伎留医療センター緩和ケア科 戸澤育文先生

H17.9月乳がんの診断に至った50歳女性は仙骨・左大腿骨にも転移があつて、H18.2月に左大腿に放射線照射した後抗がん剤治療となり、同年6月以降は抗がん剤治療を望まず緩和ケア

のみとなって現在まで継続されているそうです。長い経過で使用している塩酸モルヒネ投与量は今では1200mg/日まで増量となり、デュロテップMT 16.8mg 使用とで total 1440mg のモルヒネに相当するそうです。成書で大量と言われている 120mg の10倍以上ですが、せん妄等の副作用無く規則正しく生活しています。食欲もあって日中は趣味の読書をしてベッドで過ごし、必要に応じて部屋の外へも歩行又は車イスを使用して出るようです。週末は外泊して夫と過ごし、この前誕生した孫に会うのを今は楽しみにしているようで、ADL が自立し QOL が保たれている大変貴重な報告でした。

3. 「超高齢者の摂食不振例に対する薬物効果について」

青梅今井病院 小澤栄一先生

80歳から最高98歳、平均92歳の18人の患者さんで点滴治療になるような方々が、統合失調症の内服薬フマル酸クエチアピン（商品名セロクエル）の少量（12.5～37.5mg）投与により摂食が再開出来た報告でした。中にはペースト食の方もいますが、うなずき程度でもこちらの意思に反応を示して食事摂食不良からの回復が9例、食事拒否からの回復が2例と11例に有効だったそうです。この薬剤の副作用に食欲増進があり、作用機序は判然としないものの、応用しての使用で症状の改善を得た貴重な報告でした。

4. 「AED と ACLS の有用性及び簡単な ACLS について」

青梅市立総合病院 救急科医長 鹿野 晃先生

2005年に導入されたAEDの普及とともに、ガイドライン2005は一昔前（私が研修で救命部のローテーションした20年前）の救命措置からは大分内容が新しくなっていて、カルチャーショックを受けました。マラソン中（青梅マラソンでも最近まで3例あったそうです）などで心停止があった場合、とにかく心臓マッサージ、一般人が呼吸確認が難しい時、慣れていなければ人工呼吸省略でやはりとにかく心マ！と強調され、これだけは覚えて帰りました。無処置だと救急車到着までかかった時間で救命率は下がる為、一般の方のAED使用が大事だそうです。データでは脳障害無しで救命された確率は、救急車が到着してから救命が開始された場合の14%に対して、一般人が救急車到着前にAEDを使用した場合32%と2倍に上がるそうで、初期対応の大切さを実感しました。

5. 「鉄キレート剤により頻回輸血が不要となった骨髄異形成症候群の一例」

公立阿伎留医療センター副院長 西成田 進先生

76歳男性 Hb5.5g/dl、MCV107fl、Fe162mg/dl、UIBC57、フェリチン425で骨髄穿刺検査後シクロスポリン投与開始するも貧血が進行し毎月6単位外来で輸血を施行。輸血開始後6ヶ月目に血清フェリチンが2388まで増加した為、鉄キレート剤投与開始したところ、血清フェリチンの減少（投与6ヶ月後、393）があり赤血球輸血が不要になった報告でした。鉄キレート剤は中止してシクロスポリンは今も継続投与としているそうです。造血器疾患で頻回の輸血は鉄沈着症で二次的に全身の臓器疾患を起こす。この症例は造血器自体への鉄沈着が更なる造血器疾患の憎悪をもたらす可能性を示し、鉄沈着症への治療自体が造血器疾患の治療としての意義を持つ可能性が示唆されました。

6. 「糖尿病患者さんへのアンケート結果報告」

西多摩地域糖尿病医療連携検討会 野本 正嗣先生

発送総数 2370 で回答のあった三公立病院で 197 その他の病院・診療所で 265 のアンケート (回答数 20.4%、有効回答数 19.5%) のデータ分析結果の発表でした。糖尿病手帳の普及率 76% に対して糖尿病眼手帳は 20% で、更なる内科と眼科の医療連携が大事であると指摘されました。う歯や歯周病を有しているながら歯科受診をしていない患者さんは 24% で早期治療を勧める必要があったりと、他にもデータからいくつも今後の指針が示唆される有意義な報告でした。糖尿病患者の血圧や LDL コレステロールの治療目標値を知っている人の割合が、実際に内服している人より高かったそうで、野本先生が「自分の病気以外の方の目標値を知っている逆転現象がありました」とコメントされて会場の笑いを誘いました。糖尿病治療のためのヒント集とアンケートを同時に渡したので、実際はヒント集を読んでアンケートを書いた患者さんも多かったようで、今回のアンケート調査は結果的には疾患の啓発・患者さん教育になった印象を持ちました。

西多摩医師会納涼の夕べ

薬剤溶出ステント (Drug Eluting Stent : DES) について

公立阿伎留医療センター 循環器科部長 榎田 光夫

1977 年に Dr.Gruntig によって始まった冠動脈インターベンション治療も、30 数年の年月を経て、薬剤溶出ステントによって完成された治療となった。当初は、冠動脈解離による急性冠閉塞、それによる緊急手術の問題、血管の弾力で拡張が戻ってしまう Elastic Recoil の問題、平滑筋細胞を中心とした内膜増殖による再狭窄の問題などが存在した。

これらを解決してくれたのが冠動脈ステントであった。ステントの出現により、急性冠閉塞の回避、再狭窄の軽減がはかられた。しかし、初期のステントは硬く、狭窄部まで運ぶのに苦労したり、途中で脱落して回収に難渋したり、血栓性閉塞の防止に抗血小板療法が有効とされていたが、抗血小板剤による肝障害の問題など、多くの問題が存在した。ステントの改良が進むと、ステント内再狭窄が 1 番の問題となった。放射線治療や遺伝子治療などが検討されたが、薬剤溶出ステントの出現により多くが解決された。

これまで日本では、Cypher, Taxus, Endeavor, XienceV の 4 種類の DES が認可され、最近国産の Nobori が認可された。Cypher は初めて認可された免疫抑制剤を塗布したステントで、初期成績は良好な成績を取めたが、内膜が張りにくく、遅発性血栓症の問題を起し、最近世代に譲る形で生産が中止された。Taxus は抗ガン剤のタキソールを塗布したステントであるが免疫抑制剤のステントより治療成績が劣った。次の世代として開発された Endeavor、と XienceV は共に金属が薄く、血管内皮の被覆も良好で、遅発性血栓症の問題は軽減された。これに伴いステント植込み後抗血小板剤の中断を迫られる、自然出血、外科手術、生検などの際も期間の短縮が可能になってきた。

ステント植込み後、良くある質問に、MRI の検査を行って良いのかがあるが、当初は植え込んだステントの移動が心配されたが、問題はなかった。次に心配された植込み部位での温度の上昇も、実験で 15 分のスキャンでも最大 1.4°C の上昇にとどまり障害を来すことはなく、植込み後の MRI 検査は可能である。

DES の治療成績は向上し、最近では植込み後問題となるのは新規病変の出現であり、リスクファクターのコントロール、生活習慣の改善が大切である。

西多摩地域糖尿病医療連携検討会からのお知らせ

検討会からの今月のメッセージは、青梅市立総合病院心臓カテーテル室長 清水茂雄先生にお願いいたしました。

『糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ』

2010年、当院では174人の急性心筋梗塞患者を受け入れました。合併症として高血圧108人(62%)、糖尿病57人(31%)、脂質異常72人(41%)、喫煙54(31%、過去喫煙を含めると57%)、CKD28人(16%)でした。また、冠動脈形成術を行った379人に占める糖尿病割合は40%、心不全を主病名で入院した241名に占める割合は33%でした。糖尿病による急性心筋梗塞の発症率を下げるためには、1. HbA1c 6.5%未満だけでなく、2. LDL コレステロール 120mg/dl 未満(冠動脈疾患では100未満)、3. 外来血圧130/80mmHg未満、4. 禁煙などのコントロールも必要です。

糖尿病のある急性心筋梗塞で入院された57人の主症状は、胸痛40人、消化器症状7人、呼吸困難4人、ショック/めまい4人、意識障害1人、心肺停止1人でした。急性心筋梗塞を見逃さないため、冠危険因子のある方の心窩部痛、呼吸困難、めまいなどは心電図をチェックしましょう。また、30分以内の一過性胸痛だった場合、心電図も正常のことがあります。心電図が正常でも急性冠症候群が疑われる場合には循環器科、または、救命救急科を受診させましょう。

P.S. 閉塞性動脈硬化症などに対するPTA(血管形成術)の経験豊富な植島君が青梅市立総合病院循環器科に転勤してきました。8月2日より、火曜、午後、循環器科でも血管外来を植島、鈴木麻美の2名で行っていきます。患者紹介宜しくお願い申し上げます。

※当検討会では今後、下記の3つの講演会を予定しております。

早めに先生方の予定に組み入れて頂き、多くの会員・コメディカルの皆様のご参加をお願い申し上げます。

(1) 医師・コメディカル向け勉強会

日時：平成23年9月16日(金) 午後7時30分～

場所：公立福生病院1階多目的ホール(正面玄関を入ってすぐ左)

講師及び演題：①糖尿病患者の栄養指導について

高村内科クリニック 管理栄養士 土屋 倫子先生

②糖尿病患者の服薬指導について

青梅市立総合病院 薬剤部長 田中 三広先生

(2) CKD 研修会

日時：平成23年9月29日(木) 午後7時30分～

場所：青梅市立総合病院南棟3階講堂

講師：青梅市立総合病院 腎臓内科部長 木本 成昭先生

演題：CKDの診断と治療－糖尿病腎症の早期発見と医療連携のために－

(3) 糖尿病セミナー「一日で卒業、知って得する糖尿病スキルアップセミナー Part 2」

日時：平成23年10月16日(日) 午前9時30分～午後3時30分

場所：公立福生病院1階多目的ホール

講師：NPO法人西東京臨床糖尿病研究会の糖尿病専門医数名

演題：未定(決定次第ご連絡いたします)昨年度のセミナーより、ややレベルアップした内容となります。

※いずれの講演会もコメディカルスタッフの参加が可能です。コメディカルの皆様にも連絡をして頂き、奮ってご参加下さい。



カーナビ泥棒に注意

羽村市 ワタナベ整形外科 渡邊 哲哉

ここ数年車の盗難、車内の荷物が盗まれるといった盗難が非常に多くなっているようです。それに伴いセキュリティも良くなっていますが、それなりの価格であるため車の購入時には装備するかどうか躊躇しますが、営業マンの威しに怯んで少しグレードの高いのを付けてしまうのは私だけではないと思います。ところが去年の夏に盗難に遭ってしまいました。但し比較的落ち着いていられるのは自分の車ではなくレンタカーのカーナビだったからです。場所は夏休みに行ったハワイオアフ島。ほとんどの方が行ったことがあると思われる。ハワイでは移動手段として電車が無いためレンタカーは必需であり、旅行者の多くが借りると思います。ホノルル空港から車を借りる際にオプションでカーナビというのがあったので、日頃車の運転にはカーナビ依存度が高い私としては、当然ハワイでも必要性を感じ、それも日本語音声ガイドとなれば迷わず申し込みました。機種はコンパクトなタイプであり扱いがとても簡単で、誰でもすぐに使いこなせるものです。シガーソケットに電源を差し込みモニターはダッシュボードに置くだけでアンテナ内蔵だから取り付けの手間はありません。これがあることで地図を見ながらの運転の必要がないのでストレスを感じないでドライブすることが出来て満足度は高いものでした。車から離れるときは車内に荷物を置いておくと盗難に遭いますから、鞆などは絶対に置いていかないでくださいという話は以前からよく聞いていたので、車内は空っぽのはずだったのですがカーナビは車の一部となっており死角でした。その日は午前中に定番のアラモアナショッピング

センターへ買い物に行って、2時間位で車に戻りました。車のエンジンをかけて、ふとダッシュボードを見ると有るはずのナビが無い。車を間違えたかなと思いきや、エンジンをかけているのだからそんなはずは無い。やられた！と思いましたが、車を借りるときにオプションの保険を多めにかけていたのでたぶん大丈夫だと思い、“盗まれちゃった”でそのままホテルに帰りました。しかし車を返す時に盗まれちゃいましたではさすがにまずいと思い、日本の24時間緊急対応のレンタカー会社のホットラインに一報入れておくかと電話をしたところ、思ったより厄介で、まず警察に通報して警官からレポートを作成してもらってください。そして、空港のレンタカー会社に連絡を入れてそちらに出向いてください。さらに、カーナビの盗難は保険ではカバーされませんので損害賠償としてナビ代を払っていただきます。と言われ、この時点でえらいこっちゃとなり、すぐにホテルのコンシェルジュのもとへ走り、涙目でこんなことになってしまいましたと悲壮感を思いっきり漂わせて相談したところ、任せておけと言わんばかりにすぐに警察をここに呼びますから、ここで待っていてください。通訳も付きますから大丈夫です。レンタカー会社にも出来るだけ手間を取らせないように手配をしますと、何度も電話を入れてくれて返却時に時間がかかって飛行機に乗り遅れないようにと親切な対応をしてくれました。コンシェルジュって頼りになります。すぐに警官が来て色々と質問され、きつと形式的な調書で終わると思いきやかなり詳しく話を聞かれ、車も見たいとわざわざホテルの車係りに取りに行

かせて入念に調べていました。もしかしたら、自分も疑われるのでは無いかと不安になったのですが、鍵穴を見てこじ開けた跡があるのでプロフェッショナルの泥棒の犯行ですねという事でまとめ、一安心。そのあと、近くのワイキキの系列のレンタカー会社に行き、レポートを作成してもらい車の交換をして終了。およそ2時間ちょっとで終わったのはす

べてコンシェルジュの御蔭でした。最終的に空港での返却時にはカーナビの賠償として10万円位とられてしまいましたが、後日海外旅行保険のほうでカバーされたため戻ってきました。この夏海外でレンタカーを借りる方！ナビの盗難にはくれぐれもご注意ください。

広報だより

やまとなでしこの奇跡、サッカー観戦記

馬場真澄



“なでしこジャパン”、FIFA 女子ワールドカップで優勝して日本中をフィーバーした。サッカーファンであるなしに関わらず子供から老人まで全国民が沸きあがり、経済効果も期待されている。

テレビ中継 LIVE で観戦したファンは、連日、寝不足に陥ったのではないだろうか。1次リーグ3戦目のイングランド戦は、狭い場所でパスを回して相手を崩す、“なでしこジャパン”のサッカーが出来ず2対0で負けた。次の試合からは、撫子の花言葉どおりの“大胆”かつ“勇敢”に闘って勝利した。準々決勝戦では、優勝候補のドイツを延長の末1対0で破り、準決勝では3対1でスウェーデンに勝った。決勝戦では FIFA ランク1位のアメリカを延長の末、PK で破って優勝した。スピードとパワーに圧倒されて、攻められる時間帯、相手のミスとゴールポストに救われるシーン。相手に先制されても諦めず、慌てず、落ち着いて自分たちのリズムで試合した大和撫子の姿が印象に残っている。

延長後半12分、宮間のコーナーキックに走り寄って左足アウトサイドで合わせた澤の同点ゴール。先制点をあげたモーガンへのスライディングで一発退場した岩清水。終盤になって興奮はピークに達した。PK 戦、GK の海堀のファインセイブ、世界一を決めた熊谷の落ち着いた PK。

この栄冠は不遇を乗り越えて掴んだ栄冠で、日本の女子サッカーの歴史は、今から約30年前の1980年の全日本女子サッカー選手権大会が始まる。翌年から日本女子代表チームが組織されて国外のチームとの試合が行われた。1989年に、女子の全国リーグである日本女子サッカーリーグ(Lリーグ)が誕生した。現在、一部リーグには10団体が所属し、その愛称がなでしこリーグ。二部リーグに12団体が所属して愛称はチャレンジリーグと呼ばれているが、選手でプロ契約しているのは6~7人しかいない。仕事をしながら好きなサッカーをしている恵まれない環境である。彼女らのひたむきな情熱と不屈の精神が、ピハインドをはね返し、諦めなければ道は開ける、世界一になる夢をかなえた。

大和撫子が東日本大震災と原発事故以来、被災にあった人々に希望を与え、元気がなかった日本国民を勇気づけた誇るべき集団である。

同好会短信

ゴルフ部だより

福生市 田村皮フ科 田村 啓彦



去る7月18日、海の日に恒例のゴルフ部コンペが名門武蔵カントリークラブ笹井コースにて開催されました。

名匠 井上誠一設計のコースだけあり、平坦ではあるもののティーショットの落とし所には左右に深いバンカーが口を開け、うっそうたる木立はせり出し、砲台グリーンは細かい砂がたっぷり入った深いガードバンカーに囲まれ、更に当日は距離のあるAグリーンでした。この難易度の高いコースに加え、最高気温日本一、二を争う地域だけあって、猛烈な暑さと高湿度。台風6号の接近で前口までのカンカン照りは免れたものの、様々な方角から突然吹く強風にティーショットは流され、アイアンの距離感は狂わされるといったコンディションでした。

この悪条件のなか、秘かに特訓されたのかインコースではパーを5つ奪取された山川会

員が、3横綱揃い踏みの中なかで、ネット74の好スコアでの堂々の初優勝でした。準優勝は右足の痛風発作にも拘らず前日のクラブ競技を1.5ラウンドこなし高水会員で、前半こそその痛みのためかシャンクが止まらず叩かれましたが、後半は流石の1オーバーで大波賞も獲得しました。3位は2バーディでベスグロの江本会員。酒井会員は前日の月例の疲れからか、珍しくトリプルを2回も叩かれましたが5位入賞。難コースに悪条件が重なったため、順当とは言えますが、3横綱全員が5位以内に入りました。この他、ベテランキャディーさんをして「医者にしておくのは勿体ない」と言わしめた三島会員のドラコンの飛距離には驚かされました。

次回は11月23日(水) 勤劳感謝の日にて東京バーディクラブにて開催致します。奮って御参加下さい。



順位	氏名	所属	イン	アウト	グロス	ハンディ	ネット	
優勝	山川 淳二	羽村	44	48	92	18	74	
準優勝	高水 松夫	瑞穂	45	37	82	4	78	ニアピン賞、大波賞
3位	江本 浩	青梅	41	38	79	0	79	ベスグロ賞
4位	三井 理	福生	40	41	81	4	77	ニアピン賞、ドラコン賞
5位	酒井 淳	青梅	43	42	85	3	82	小波賞
6位	青山 彰	福生	48	40	88	6	82	大波賞
7位	田村 啓彦	福生	46	43	89	6	83	
8位	渥美 浩	福生	47	46	93	9	84	小波賞
9位	横田 卓史	羽村	48	51	99	11	88	
10位	横地喜代美	福生	57	51	108	20	88	
11位	三島 淳二	青梅	50	50	100	9	91	ドラコン賞
12位	河内 泰彦	福生	53	53	106	13	93	
13位	宮川 栄次	福生	59	54	113	13	100	BB賞
13位	西村 律子	福生	56	57	113	13	100	BB賞、ニアピン賞
15位	松原 貞一	羽村	51	65	116	15	101	BM賞

理事会報告

★ Information

6月移動理事会

平成23年6月28日(火)

羽村市 かつら

[出席者：横田・鹿児島・野本・川上・川間・蓼沼・江本・川口・山川・宮城・近藤・池谷・松原・足立]

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長連絡協議会（5月20日）報告

1. 都医からの伝達事項

- ①地域における虐待対応力向上研修会の実施協力依頼について
- ②第28回日本医学会総会博覧会「Web & リアル博覧会」について
日本医学会総会中止のため6月24日～6月26日科学技術館で開催
- ③医療施設における節電行動計画の作成について
会員に周知することとす
- ④東京都医師会から地区医師会への発信文書について
ペーパーレスを目指すため理事各自のパスワード申請をしていく予定

2. 地区医師会からの報告

- ①中央ブロック（当番：神田医師会）
- ②城東ブロック（当番：江戸川区医師会）
- ③城西ブロック（当番：新宿区医師会）
東日本大震災支援中野区関係機関協議会について（中野区医師会）
避難者286名
区民向け講演会（中野区医師会）
 - 1) 放射線のひみつ
 - 2) 子宮頸がん予防講習会
- ④城南ブロック（当番：荏原医師会）
クールビズ実施のお願い
- ⑤城北ブロック（当番：豊島区医師会）
- ⑥多摩ブロック（当番：立川市医師会）
都立高校の校医・産業医に対する仕事内容、報酬について（八王子市医師会）
都立高校の健診時の応援医師に対する各医師会の対応について（八王子市医師会）
- ⑦大学ブロック（当番：女子医大医師会）

3. 出席者による意見交換

- ①資料「2012年度の診療報酬・介護報酬同時改定についての日本医師会の申し入れ(要請)」の送付に関する件について（東京都医師会）
- ②政府の「社会保障改革に関する集中検討会議」による社会保障改革案について（東京都医師会）

2. 各部報告

総務部 6/25 西多摩地域糖尿病医療連携検討会「市民健康講座」アンケート結果に

ついて

出席者 55 名中 41 名から回答が得られた

6/15 新公益法人制度移行検討委員会報告

3. 地区会よりの報告（各地区理事）

青梅市 1/17 総会開催 定款採決、役員理事選出

福生市 6/23 総会開催 役員選出

羽村市

あきる野市 6/20 定例会

瑞穂町

日の出町

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——

2. 東京都医師会各種委員会委員候補者について（敬称略） —— 承認 ——

公衆衛生委員会 蓼沼 翼

病院委員会 石田信彦

休日・全夜間診療事業実施対策協議会 松山 健

休日・全夜間診療事業実施対策協議会 横山美貴

救急委員会 小山英樹

健康スポーツ医学委員会 會澤義之

学校医委員会 鹿児島武志

地域福祉委員会 進藤 晃

【3】協議事項

1. 社会福祉法人の開設者変更に伴う入会金の徴収免除申請について —— 否決 ——

（社会福祉法人たま紫水会紫水園診療所から提出された事案）

西多摩医師会では社会福祉法人自体が入会している事例が他になく免除の例外を作る必要はなく否決となった

2. フリーターキング

3. その他

災害時優先電話について

NTTの116へ申し込むことにより医療機関からも災害時に発信がしやすくなるシステムがあるとの紹介

7月定例理事会

平成23年7月12日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：横田・田坂・鹿児島・野本・川上・蓼沼・江本・川口・宮城・岩尾・近藤・池谷・松原〕

【1】報告事項

1. 各部報告

地域医療部（公衆衛生）

○「往診・在宅医療のアンケート」実施について

往診・在宅医療の実態調査を行う目的でアンケートを実施することとした

2. 地区会よりの報告（各地区理事）

青梅市 8月に行われる防災訓練に6名が参加予定

福生市 7/15～ワクチン接種252名

羽村市 7/9 納涼会、お祝い会を実施

あきる野市

瑞穂町

日の出町 篠原秀隆先生逝去

3. その他報告

蓼沼医師より公衆衛生委員会委員の就任については開催する水曜日に都合がつかないため就任は辞退するとの報告有り

【2】報告承認事項

1. 入・退会会員について —— 承認 ——

2. 日の出町立小学校医の推薦について（変更） —— 承認 ——

篠原秀隆医師御逝去に伴い学校医変更

馬場眞澄医師を推薦

3. 「安全大会講師派遣依頼」について（重車両工業（株）） —— 承認 ——

野本正嗣医師を派遣

（このような会社からの費用負担のない講師派遣依頼が増える可能性がある、今後医師会が負担して公益事業の一つとしてみることを検討してみてもどうかとの意見あり）

【3】協議事項

1. 新公益法人制度移行検討委員会報告

「新定款（素案）」の修正提案について

2. 上記検討後の「新定款（素案）」を執行部（案）として承認することについて —— 承認 ——

【4】その他

1. 東京都医師会からの地区医師会への発信文書のペーパーレス化について

（日本医師会文書管理システム（都医版）ID・パスワードの登録）

地区医師会役員及び事務局、東京都医師会役員・職員を対象にユーザー名・パスワードを登録する

2. 「消費税要望に係るアンケート調査（依頼）」について

都道府県医師会役員及び郡市医師会役員を対象として7月下旬までに配布・回収

3. 「開放型病院に関する協定書（案）」について（青梅市立総合病院）

各理事検討を行い次回理事会にて諾否を協議することとした

お知らせ

事務局より お知らせ

平成23年9月(8月診療分)の

保険請求書類提出**9月8日(木)**

— 正午迄です —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生がお亡くなりになりましたので、法律相談は一時中止となります。

あ と が き



暑い日が続き、地震、原発の影響が未だに尾を引きずる中、節電と熱中症対策に翻弄される毎日ですが皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

さて、7/4「将来の医師会を担う若手会員の意見を聴く会」がありました。私も地区長から出席の依頼を受け出席させていただきました。

参加者は横田先生、小机先生、野本先生と若手(?)9名で会館建設や、医師会に望む事、医療連携などについてディスカッション形式で行われました。

会館建設は駐車場を含め規模は小さく。救急の体制が弱い。学術講演会などどうしても

疎遠になってしまう。地域単位での繋がりが重要。など…

驚く事に皆さん活発に意見されており、頭数合わせのつもりで隅でおとなしく傍観してしようと思っていた私は、出されたお寿司ものどを通らずあわてて資料に目を通す有様でした。

編集委員会に出席していると理事の先生方が大変な事は間接的に伝わってきます。私には絶対できないなあ。今後の医師会運営は大丈夫なのかなあ?と心配になりますが、今回出席してこのような先生方がいれば安心だなと“あくまで客観的に”思うのでありました。

すずき瑞穂眼科 鈴木寿和

社団法人 西多摩医師会

平成23年8月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23) 2171・FAX 0428(24) 1615

会報編集委員会 近藤 之暢

鹿兒島武志 江本 浩 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝
桑子 行正 土田 大介 奥村 充 渡邊 哲哉

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22) 3047・FAX 0428(22) 9993

診療所向け電子カルテシステム



BMLには誇りと実績があります。

★日本全国のお客様をサポートしてます。

★全診療科に対応してます。

★多彩な入力ツールを用意してます

★多くの連動システムに対応してます

★オンライン請求に向けたレセ電算化に
全国で対応可能です。



株式会社 **ビー・エム・エル**

埼玉第三営業所

TEL:049-232-0111

「西多摩医師会」会員の皆さまへ

東京厚生信用組合は
福祉・医薬・医療・環境
衛生の関連事業者の
発展に寄与してまいります。

東京厚生信用組合は、
医療関連事業を営む皆様を
対象として、1953年に設立された
協同組織の金融機関でございます。

既に各地区医師会で多数の会員の皆様に
ご利用頂いております。これからも、
会員の皆様に密着した金融機関として
努力して参ります。

安心と信頼の
パートナー

貴重なお時間を有効にお使い
いただくため、訪問による相談
業務を得意としております。

お問い合わせは：医師会様担当 落合まで
●本部〈フリーダイヤル〉

0120-294805

ご融資

- クリニック運営資金
- 学術研究資金
- ご子息の教育資金
- 記念パーティー等の資金
- お車購入資金
- その他どんな事柄でも
ご相談くださいませ。

都医ニュースでお馴染みの「東京厚生信用組合」です。



「人間・福祉・環境」にやさしい

東京厚生信用組合

本店 新宿区西新宿6-2-18/浅草支店 台東区駒形1-1-12
小平支店 小平市美園町1-31-1/青梅支店 青梅市河辺町10-8-3